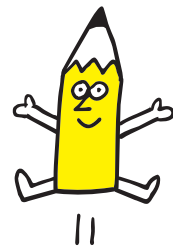


基本が身につく「鉛筆BOOK」

鉛筆デッサンは表現の基本。

鉛筆の削り方から石膏デッサンまで、

鉛筆の扱い方やさまざまな表現を幅広く学べるようにしました。



鉛筆の 全てがわかる!

鉛筆は、私たちにとって
最も身近な画材の一つだ。
基本的な使い方や
描き方を押さえて、
表現の幅を広げよう。

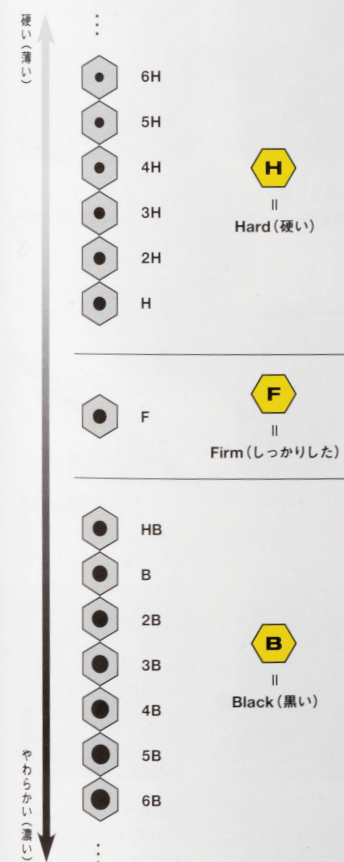
鉛筆 BOOK



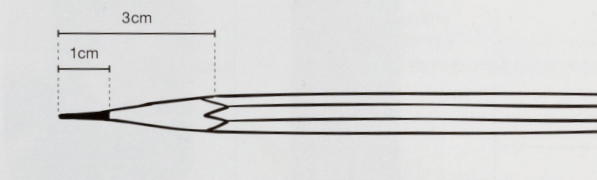
鉛筆の使い方や技法などの
資料を見てみよう。



● 芯の種類 鉛筆は10H～10Bまで
硬さの種類がある。
表現に合わせて使い分けよう。

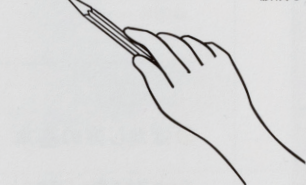


● 削り方 デッサンでは、芯の先端と側面の両方を使うため、
カッターで芯の部分を長く出して削るとよい。



● 持ち方

持ち方によって線の強弱や色の
濃淡など、さまざまな表現ができる。

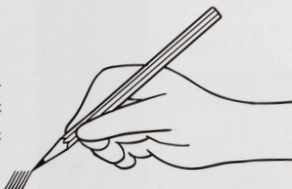


寝かせて持つ

やわらかい、太い線が引ける。手首が
自由に動かせるので、おおまかに描く
ときや広い面を塗るときに適している。

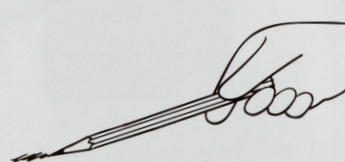
立てて持つ

文字を書くときと同じ持ち方。ハッ
チング(陰影をつけるために細い線を平
行に描くこと)をしたり、細部を描いた
りするときに適している。



長めに持つ

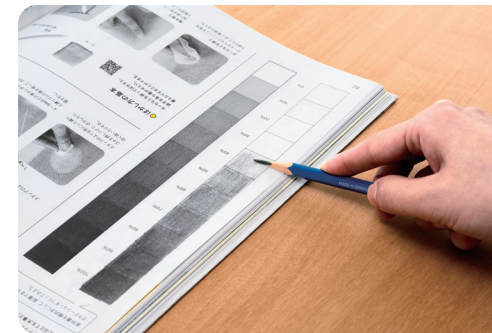
鉛筆の下部分を優しく持つと、大き
く腕を動かして描くことができる。また、
筆圧の弱い、やわらかい調子をつける
ことができる。



81

P.81「鉛筆BOOK」

描き込みやすい
用紙を採用



「鉛筆BOOK」には、描き込みやすい用紙を使っ
ています。教科書に直接塗って、自分でグラ
デーションをつくることができます。

◎ 鉛筆の動画だけで10本!



- ① 鉛筆の削り方
- ② 鉛筆の持ち方
- ③ グラデーションをつくる1
- ④ グラデーションをつくる2
- ⑤ 練りゴムの使い方
- ⑥ ぼかし方の基本
- ⑦ リンゴを描く
- ⑧ 質感の異なるものを描く
- ⑨ 石膏像を描く
- ⑩ 手を描く

鉛筆の持ち方



鉛筆で質感の
異なるものを描く



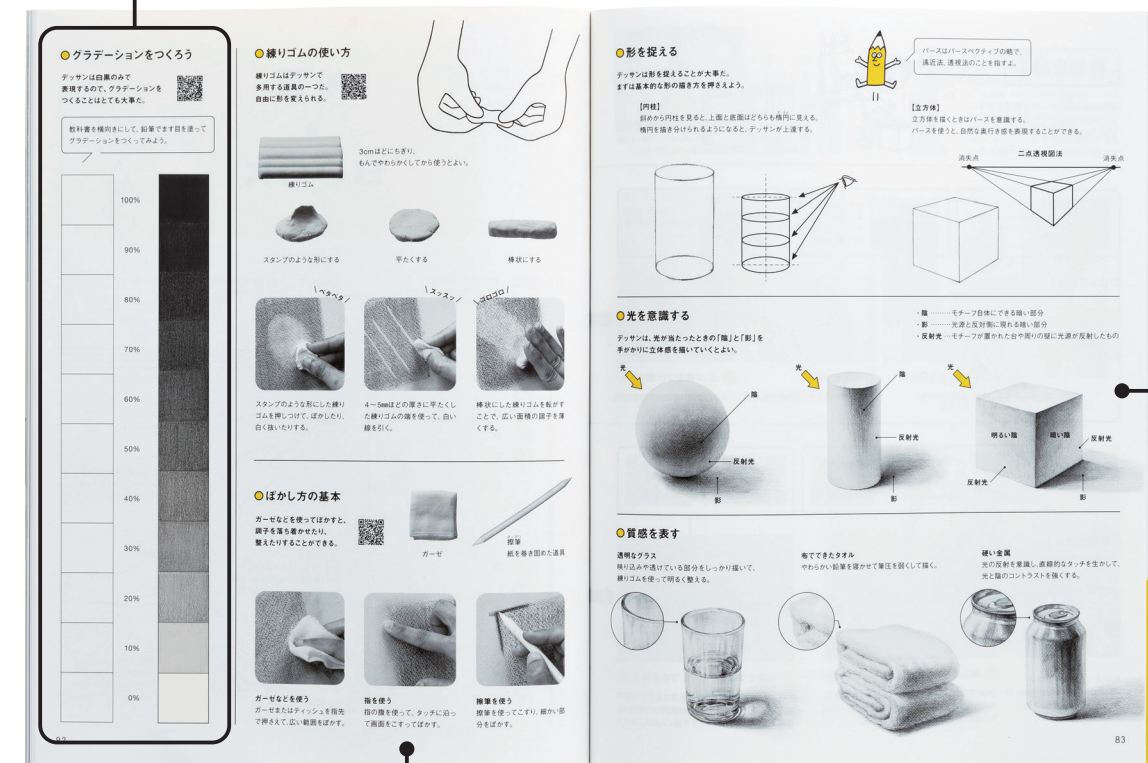
デッサンの
基礎である

形

光

質感

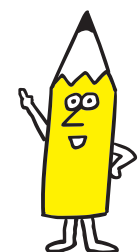
を丁寧に
解説



P.82～83「鉛筆BOOK」

用具の使い方を
詳しく

練りゴムの使い方、ガーゼを
使ったぼかし方など、鉛筆
デッサンに欠かせない基本的
な用具の使い方を掲載。



鉛筆デッサンの
基本を徹底的に
学べるページだよ。